

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	0193800034		
法人名	株式会社パシフィックケアサービス		
事業所名	グループホーム ゆとりの里三石		
所在地	〒059-3233 日高郡新ひだか町三石亀舞344-6 (電話) 0146-34-2834		
評価機関名	社団法人 北海道シルバーサービス振興会		
所在地	〒060-0002 北海道札幌市中央区北2条西7丁目かでの2・7 4階		
訪問調査日	平成20年3月17日	評価確定日	平成20年5月12日

【情報提供票より】 (20年3月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・ (平成)	18年	12月	1日
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9人	
職員数	10人	常勤	10人, 非常勤	人, 常勤換算 6.1

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋	造り
	1階建ての	～ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	31,000円		
その他の経費(月額)	光熱水費 1日650円 10月～3月燃料代1ヶ月6,000円		
敷金	有(円) <input type="radio"/> 無		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) <input checked="" type="radio"/> 無	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	400円	昼食 400円
	夕食	500円	おやつ 円
	または1日当たり 1,300円		

(4) 利用者の概要 (3月1日現在)

利用者人数	9名	男性	4名	女性	5名
要介護1	0名	要介護2	3名		
要介護3	5名	要介護4	1名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 87.1歳	最低	77歳	最高	94歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	山田クリニック、おおきクリニック、波川歯科、中村薬局
---------	----------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

鳥の声で目覚め、太平洋を目近くに地引網を楽しみ、元漁師の奥さんの面目躍如、利用者の残存機能を引き出しに取り組み、又、山、温泉と自然豊かな所で四季折々の移ろいを身近に感じながら、ホームの広い敷地で飼われている、ウコッケイ、綿羊、春の山菜取り、畑作りなど楽しみながら、ゆっくり、一緒に、楽しくを、理念に掲げて、開設1年3ヶ月ですが、利用者は職員の温かい見守りの中、安心感をふくらませ、ゆったりした生活が、作り上げられている。今後益々期待したいホームである。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 初めて
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 6月、3月と2回の自己評価を全員で行い、振り返り自己点検を行い精力的な取り組みが行われている。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 概ね2ヶ月に1回行われ、町内会長、役場職員、家族とで構成されているが、今後は包括支援センターなど幅広い参加を求め、災害時の対応、避難訓練なども検討され、自己評価及び外部評価の取り組みを議題として、ホームのサービスの向上に繋がるよう期待します。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 毎月発行されるゆとりの里便り、利用者の様子やホームの出来事が報告されていますが、家族の面談の機会を多くすることにより、家族の意見、要望、苦情を聞きながら、意見箱の設置など、ホームの運営に反映される事を期待します。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 自治会に加入し、地域のイベントに積極的に参加して、地域のお付き合いを大切に、利用者が地域と共に暮らしていく関係が出来つつあります。今後もホームの園芸、畑作り、緊急時の避難訓練などを通して、地域住民と共に豊かな地域社会作りが出来る事を期待します。

2. 調 査 報 告 書

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	基本理念、運営理念、目的、目標は作り上げられているが、地域密着型サービスの理念を加えて頂きたい。	○	これまでの理念を見直し、住み慣れた地域での安心した暮らし、関係性の継続、地域生活の継続を支える理念の取り組みに期待したい。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	会長、社長さんを初め全員が、月2回スタッフ会議の中で行っている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	小学校の運動会、町内のお祭り参加、地域の敬老会に招待され参加、青葉保育園児の訪問踊りのボランティアの訪問時には、一緒に太鼓の腕を披露する利用者もいる。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全員で自己評価の設定について話し合い、評価の意義を理解して、3月にも自己評価に取り組み改善につなげている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	概ね2ヶ月に1回、町内会長、役場職員、家族等に状況説明などが行われている。	○	次回4月からは、地域包括支援センターも加わるとの事ですが、従来の協議内容に自己評価及び外部評価の公表などして、改善に向けた取り組みに期待したい。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	会長さんが町との連携を図りサービスの向上に繋がっている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	ホーム便り、家族の面会時には状況説明が行われている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の訪問時には、努めて声掛けを行い意見や要望を伺うようにしている。	○	意見箱の設置、契約書等に事業所の苦情受付担当者、第三者機関の窓口など、家族の苦情表現がし難い部分を察し意見の取り込みを期待したい。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	1名の退職者が居たが余り影響がなかった。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	北海道グループホーム連絡協議会の会員となり研修会に参加、情報収集、日高支庁で行われている研修会にも参加している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	胆振地区協議会、日高地区協議会、利用者と共に夏祭り、クリスマス、お花見が行われている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	家族と見学など、利用者自身の思いを受け止めながら、本人が馴染める関係作りに努めている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	出来る部分で女性は調理の下ごしらえ、食器拭き、洗濯物干し、男性にはモップ掛け、除雪などに参加をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	太鼓の特技などは家族から聞いて吉！本人の趣味などを聞きながら、太鼓に合わせて民謡、踊りと楽しんだり、農作業、温泉と意向の把握に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	居室担当制を取り入れ、理解して計画を立てられるようになった。本人の意向を大切に、家族、スタッフ全員で状況に合った介護計画が出来ている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	変化に対応した介護計画の見直し、3ヶ月でモニタリング、6ヶ月、更新時などに見直しがおこなわれている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	理、美容院、通院介助、外出、買物支援、お寺参りなどの支援が行われている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の定期往診、訪問看護師の糖尿病患者の定期的採血検査、歯科医受診など随時連絡、相談が行われている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族の希望があって、重度化や終末期に向けた話し合いはされつつあるが全員の共有にはなっていない。	○	重度化した場合の対応について、本人及び家族かかりつけ医、そしてホームの相互理解、意向の統一を図るためにも、重度化終末期に向けたホームの指針書作成を期待したい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	プライバシーを配慮した対応が成されている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々利用者の意向を大切に、買物、温泉、カラオケなど、本人のペースに合わせた支援が行われている。	○	今後はセンター方式も勉強して取り入れたいとの事だが、色々の角度からのアセスメントを多く取りながらより良い支援に繋げて頂きたい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	今日のカレーライス作り芋の皮むきさいの目切り、好みと出来る力を活かしながら一緒に楽しみながら食事、下膳が行われていた。材料の人参はホーム産との事。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週2回は本人の希望やタイミングに合わせて入浴が行われている。温泉が近いので温泉を楽しむこともある。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	カレンダーめくり、ウコッケイの卵取りが仕事の方、これからは農作業を楽しむ方、歌、カラオケ、外出にと一人ひとりの支援が行われている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	担当制を取り入れてその日の希望にそった、外出支援が行われている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜19時～明朝7時まで施錠はされているが日中帯は鍵のかけないケアに取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の方と一緒に避難訓練や心肺停止時対応などが行われている。	○	災害時、夜間対応訓練など地域住民を巻き込んだ具体的な取り組みを期待したい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	老人食、糖尿病食など一人ひとりの状態に合わせた献立作り、水分チェックをしながら、支援が行われている。	○	定期的に栄養バランスなどで、町の栄養士、保健師のアドバイスを頂く様な取り組みを期待したい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関からプランターに花が植えられ、広々とした居間、談話室にも君子欄、孔雀サボテンが咲き、壁にはこれまでのスナップ写真が飾られ、テーブルには工夫がなされ、男性トイレも取り入れるなど習慣を大切に居心地の良い暮らしの工夫がされている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みの物が持ち込まれ居心地の良い居室になっている、本人の状態に合わせたトイレ付き居室も用意されている。		

※  は、重点項目。